



塩津の写真を 探しています

博物館では、「大塚の歴史」「形原の歴史」など市内各地区の歴史に関する展覧会をたびたび開催してきました。来年の夏は「塩津の歴史」展を開催する予定で準備を進めています。

◆塩津地区のふるさとの歴史

塩津地区の遺跡や文化財について、いくつか紹介します。

- ・大迫古墳群：豪族のお墓。七基が現存。坂野坂頂上の東南にある。
- ・月田遺跡：奈良・平安時代の遺跡。塩津中学校の西。塩作りの土器が多数出土した。
- ・源光寺の十一面観音像：平安時代の作でとても古い。一木造り、素朴な表現の仏像。
- ・馬頭観音堂：愛知工科大学の北。



江畑交差点 (昭和 40 年代)

室町時代に造られた建物。元は幸田町の大草神社にあった。
・竹谷城跡：塩津中の東の丘。戦国時代の城あと。竹谷の松平氏が住んだ。
・拾石神社のたび石：足袋のかたちをした石。旅行をする前、旅の無事を祈った。
塩津地区にははるか昔から豊かな歴史があるとあります。この他にも多くの文化財が存在します。

◆写真提供のお願い

博物館では、塩津地区の古い写真を集めています。対象は戦前から昭和40年代頃までの写真です。懐かしい建物、暮らしの様子がわかるものなど、昔の写真をお貸しただけでないでしょうか。写真は博物館で複製した後、返却します。提供いただける場合は、博物館にご連絡ください。よろしく願います。

科学館の

「いきもの係」です

こんにちは！私は、4月から生命の海科学館へやってきました。蒲郡へ来る前は、名古屋の大学で、ウミユリという美しい深海生物を研究していました。

ウミユリは、その名のとおり細長い茎の上に花が咲いたような姿の生き物ですが、じっと見ていると、ゆっくりと動いているのがわかります。実は彼らは植物ではなく、ヒトデやウニに近い動物なのです。ウミユリの体の中で、花びらのように見える「腕」という部分には、発達した筋肉があり、餌を食べる時や、海底を這って歩く時によく動きます。ウミユリの仲間では、ウミシダとよばれる成長の途中で茎を失うグループは、活発に腕を動かし、海の中を泳ぎ回ることもあります。もし水族館でウミユリやウミシダの仲間を見かけたら、ぜひじっくりと観察してみてください。

ウミユリは、地球上に現れた5億年前からその姿を大きく変えずに生き残ってきた、「生きている化石」とよばれる生き物の一つでもあります。恐竜誕生よりもさらに昔、三葉虫が繁栄した古生代の海の底には、ウミユリの「お花畑」が広がっていたといわれています。

ウミユリなどの深海生物を求めて漁船に乗せていただくほど深海大好きな私は、県内で唯一深海魚が水揚げされる蒲郡で、「いろいろな生き物に出会えるかな？」と、とてもワクワクしています。

海の古代生物がたくさん！夏はイベント盛りだくさん！そんな当館へ、ぜひ遊びにきてくださいね！



ウミユリ的一种、トリノアシ

